

第14回全脳アーキテクチャ勉強会 パネルディスカッション

2016年5月18日

パネリスト

パネリスト:

松田 卓也 (NPO法人 あいんしゅたいん)

谷藤 学 (理研 脳科学研究センター)

一杉 裕志 (産総研 人工知能研究センター)

モデレータ:

森川 幸治 (パナソニック 先端研究本部)

パネルディスカッションの進め方

- ・ 最初に一杉さんから簡単な研究紹介
本日のトピック(新皮質計算モデル)に関して
- ・ 以後は基本的には会場からの質疑を進めます

※時間があれば、以下のトピックで議論

- 1.現状:新皮質の計算モデルはどこまで解明され、どこまで実装可能になったか
- 2.課題:まだわからない点、研究が必要な点は？
新皮質以外の部位の計算論における役割は？
- 3.将来:汎用化のマスターアルゴリズムの解明と実現の時期は？

トピック1

1.現状:新皮質の計算モデルはどこまで解明され、どこまで実装可能になったか

トピック2

2.課題:まだわからない点、研究が必要な点は？
新皮質以外の部位の計算論における役割は？

トピック3

3. 将来：汎用化のマスターアルゴリズムの解明と
実現の時期は？